

第2回 日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

議事要旨

■日程・場所

日 時：令和5年10月19日(木)10:00～11:30

場 所：金沢市役所第二本庁舎3階 2301 会議室

■発言要旨

(1)事務局からの資料説明

(2)オブザーバーからの資料説明

(3)意見交換

(野澤委員)

○例えば空きテナントや老朽化した古い建物の建替えや改修等、まちなかが抱えている課題解決を後押しする視点も必要。

○例えば、文化活動の練習や発表、アーティストが集まって発表できる場というのは、当該地にも必要かもしれないが、周辺でもできる機能でもある。当該地においては、インキュベーションとしての機能をなるべく重視することにより、周辺への波及効果が期待できるのではないか。

(馬場先委員)

○片町において、再開発の話があるが、例えば、そうした周辺との役割分担や連携も視野に検討したほうがよいのでは。

○建物に愛着を持っている市民が多数いる中、建物をすべて壊してしまうということは抵抗があるであろう。それを踏まえると、現在の建物について、例えば耐震性の面から残せる部分と残せない部分等も、検討材料にして行く必要があるのではないか。

(水野座長)

○上記の意見に対して、事務局のほうから説明があればお願いしたい。

(事務局:津田企画調整課長)

○今年度は、当該地に求められる機能について検討することとしており、既存の建物の利活用手法等については、それらを取りまとめたあとに検討していくことになると考えている。懇話会では、当該地に求められる機能について取りまとめていければと考えている。

(馬場先委員)

○求められる機能によっては、既存の建物を活用できるか否かも違ってくると思うので、それらも踏まえ、考えていく必要があるのではないか。

(宮下委員)

- 金融経済の中心であった場所が、市民に広く開かれ、市民の文化活動等における拠点に変わるとするならば、それは非常にインパクトがあることだと思っている。
- 既存の建物が壊され、新しい建物が建つことにより、その場所における記憶が薄れることは、よくあることであり、例えば、ファサードなどを残すことにより、その場の記憶を残すような考え方もあると思う。
- 多数のバスが通過する交通の要衝であることを踏まえると、バス等の公共交通の拠点とするような考え方は、あると思っている。

(米澤委員)

- 夜間において、当該地と三菱 UFJ 銀行が入居する隣接地の部分だけが暗いことについて、なんとかしなければならぬと感じている。
- 南町に位置する北國新聞社が、情報と知のシンボルとしたら、当該地は、文化のシンボルとするような考え方は、中心地としてよいと思う。
- 第1回の会議において、ホールという意見が出ていたが、ホールもあるかもしれないが、21世紀美術館の分館がどこかに必要ではないかと思っている。展示されない作品が倉庫の中に眠っているのはもったいない。

(渡邊委員)

- 求められる機能の基本的な方向性の内、回遊・交流の部分について意見を述べる。
- 先日、未来へつなぐ金沢行動会議の都市づくりチームとして、金沢駅西広場において机やテーブルを設置する実証実験させていただいた。
- その結果、交通の要衝となる場所でくつろげるスペースや、少し待てるスペースということについて、非常に好意的な意見を多数頂いた。
- そうした実験結果を踏まえ、当該地においても、賑わいスペースや待合の空間として活用していくことは、とてもいいことではないかと思っている。
- バスやシェアサイクル、新しい交通手段の普及も踏まえ、検討するとよいのではないか。

(水野座長)

- 都市再生機構からの提案事例の中において、人々が座ってゆっくりできる滞留空間というのが金沢の都市の中、特に都心軸の中にはないと常々感じている。
- 賑わい空間や滞留空間が意識的に創出され、いつでも、誰もが、そこ行って少し休憩できたり、待ち合わせができたり、イベントに出会うことができる。そういった滞留空間というのは、渡邊委員のご指摘通り必要な空間だと、私も思っている。

(雨坪委員)

- コロナが収束して以降、中央公園でオクトーバーフェスなどが開かれたり、サケマルシェが開かれたり、多様なイベントが再開されている。これらのイベントによって多くの市民・県民がまちなかに繰り出し、大変にぎわっている。
- まちというのは、何も考えなくても楽しめる、昔はそういう場所だったと思っている。
- 自然に人が集まることができる場所を考えていかなければならないのではと思っている。

- 一方、防災面において、有事の際は避難できる場所も必要ではないかと思っている。
- 隣接地である銀行も含め、一体の再開発が必要ではないかと考えている。

(久保田委員)

- 長町地区からは、武家屋敷を一回りしなければ、中央通りに出れない。
- 長町緑地の周辺などにおいて、中央通りに出る部分など、道路交通の改善検討をお願いしたいと思っている。
- 当該地においては、外周部の塀を撤去し、どこからでも敷地にアクセスできるようにすることが大事ではないかと思っている。
- タブの木もぜひ残していただきたい。
- 市として、当該地を取得することを表明していただきたい。

(砂塚委員)

- 第1回懇話会の際、当該地に強力な集客力を持った中ホールを整備する等、人を集めていく機能を軸に置いてはどうかと話をしたが、その延長線で話したい。
- 音楽堂は、オーケストラアンサンブル金沢の拠点であり、能登に目を移すと能登演劇堂は、無名塾の拠点となっている。北國新聞赤羽ホールは、ガルガン・アンサンブルが拠点にしている。このように劇団の準拠点になるような位置づけを目指すのはどうかと思っている。
- 周辺において、人の回遊を促す視点で考えると、食が大きな要素になるのではないかと思っている。周辺の商店街と連携しながら、まち全体として食で魅力付けしていくようなことも考えられるのではないか。
- 土日に、金沢駅から香林坊までワンコインバスが走っているが、人の回遊を促すのに有効な手段になるのではないか。

(水野座長)

- 21世紀美術館の分館やホールへの活用等、個別具体の提案を踏まえ、どのようにまとめていくかについて、事務局のほうから説明があればお願いしたい。

(事務局:津田企画調整課長)

- 第3回の懇話会においては、本日いただいた意見等を改めて整理し、求められる機能の基本的な方向性について、とりまとめていきたいと考えている。
- いただいた個別具体の意見等については、基本的な方向性をとりまとめた後における、具体の検討の際につなげていきたいと考えている。

(徳田委員)

- 前回、私からは、都市の品格、賑わいの創出、まちなかの回遊性がキーワードになると発言させていただいた。それらの点が、基本的な方向性には盛り込まれていると思う。
- 求められる機能の基本的な方向性の(4)として、市民や観光客が、文化に触れて楽しむことができる機能ということが書かれているが、これは都市の品格とも関連する文化都市金沢において、大切な機能であると思っている。

- まちなかの回遊性という観点では、先ほど米澤委員から発言があったように21世紀美術館或いはしいのき迎賓館との連携等にも留意していく必要があると思っている。
- 個々具体の利活用は基本的な方向性を踏まえて次の段階でなされていくものと理解している。
- 駅前のホテル跡地のように何年も土地の利用が決まらないまま経過するという仮になれば、金沢のみならず石川県においてもおおきなマイナスになると考えている。
- 馳知事は、6月の県議会において、当該地の利活用に向けたスケジュールを早く市民のみなさまに示す必要があり、金沢市が具体案を早く示したほうが良いと答弁している。
- 日本銀行においては、まず地方公共団体に買取の意向確認を行う流れと県としては理解しているが、当該地の取得について、金沢市は、どういう方針をお持ちなのか、また、時期についてどういう方針をお持ちなのか、その見通しを早く示されることが重要かと思っている。
- 当該地に求められる機能の方向性を具体化していくことを早めるためには、具体の利活用案を示していくことが肝要と考えるが、事務局から回答をいただけるようであればお願いしたい。
- 日本銀行においては、まず地方公共団体に買取の意向確認を行う流れと県としては理解しているが、当該地の取得について、金沢市は、どういう方針をお持ちなのか、また、時期についてどういう方針をお持ちなのか、その見通しを早く示されることが重要かと思っている。
- 跡地になるのは指呼の間である。当該地に求められる機能の方向性の具体化を早めるため、具体の利活用案を示し、議論を深め加速していくことが肝要と考える。事務局から回答をいただけるようであればお願いしたい。

(事務局:津田企画調整課長)

- 当該地の取得等については、本懇話会における当該地に求められる機能の議論を踏まえた上で、対応を検討していくことになると考えている。
- 日本銀行からは、跡地について、売却の意向は示されているが、具体の売却時期等については、示されていない。
- 一方、前回も説明した日本銀行の他支店における売却の事例では、移転後、売却までに3年程度の期間を要している。
- 日本銀行における、当該地の取り扱いに関する動向等について、引き続き注視しながら、委員の皆様には、求められる機能の基本的な方向性を取りまとめて頂き、その後、具体策等の検討を進めていく必要があると考えている。

(米澤委員)

- 移転後3年もそのままということとなると、批判が出そうな気がする。分からない中の発言となるが、例えば、事前に設計等の検討は進めておく等、期間短縮を検討することが必要ではないかと思う。

(事務局:津田企画調整課長)

- 頂いたご意見等も踏まえ、スケジュールについて検討していきたいと考えている。
- あくまでも他支店における事例を参考として申し上げただけであり、当該地について、どのようなスケジュールとなるかは、まだ明示されていないため、それらを把握した上で、調整していくことになると考えている。

(事務局:村山市長)

- 日本銀行と本市との間では、協議を進めさせて頂いているが、できるだけ早く活用できるようにと思っている。
- 一方で、どのような活用になるかによって、活用の早さが変わってくると考えている。
- 例えば、取り壊して広場にするのであれば、解体の時間が必要となるし、既存の建物を活用したら、中身をどうするかということについて検討する期間が必要になると考えている。
- これらを踏まえながら、できるだけ早く活用できるようにしたいと考えている。

(水野座長)

- 本懇話会においては、まだ取得していない土地に対して夢を膨らませている状態であり、非常に珍しい例だと思っている。
- 一方で、実現的なところをしっかりと抑えていただけたらと思っている。
- 次回の懇話会が最後となるので、何かあれば事務局へご意見頂くと同時に、次回もご意見をご披露していただきたいと思う。

－ 以 上 －